

【説明資料】

パシフィック・パートナーシップ2010への参加(全般概要)

趣 旨	昨年11月15日、シンガポールにおいて鳩山総理大臣が表明されたアジア太平洋地域政策の実現に寄与するため、同地域の諸外国が参加する「パシフィック・パートナーシップ2010」(米国主催)へ輸送艦及び医官等をもって参加し、また、NGOなど民間団体とも協力し、多国間での共同医療支援能力の向上を図るとともに、文化交流を行い、アジア太平洋地域の諸外国との関係強化・信頼醸成をめざす。
意 義	・ 関係国間の相互理解及び協力関係を増進し、国際的な安全保障環境を改善するとともに、日米安保体制の強化に資することから、我が国の平和と安全を確保していく上で重要な意義を有する。 ・ 医療支援などの国際緊急援助活動や民間セクターとの連携に係る自衛隊の練度・技量の向上を図るとともに、国内における官庁間協力の強化、諸外国の民軍部門との協力強化を図る上でも有意義な機会が確保できる。
期 間	平成22年5月23日 ～ 7月15日 (約2か月間)
参加部隊等	海上自衛隊「おおすみ」型輸送艦 1隻(乗員等 約150名) 及び 陸海空3自衛隊混成医療支援チーム(約30名)
活動内容	○ 医療支援 ○ 文化交流 ○ 人員・物資の輸送
民間団体との協力	外務省を通じて協力団体を募集予定
構 想	

項目	米国の現時点での構想
参加艦	米軍病院船「マーシー」
参加・関与国	日本、韓国、カンボジア、タイ、ベトナム、マレーシアなど約20か国
民間団体	米国の人道支援団体など約15団体



米国病院船「マーシー」



海自「おおすみ」型輸送艦

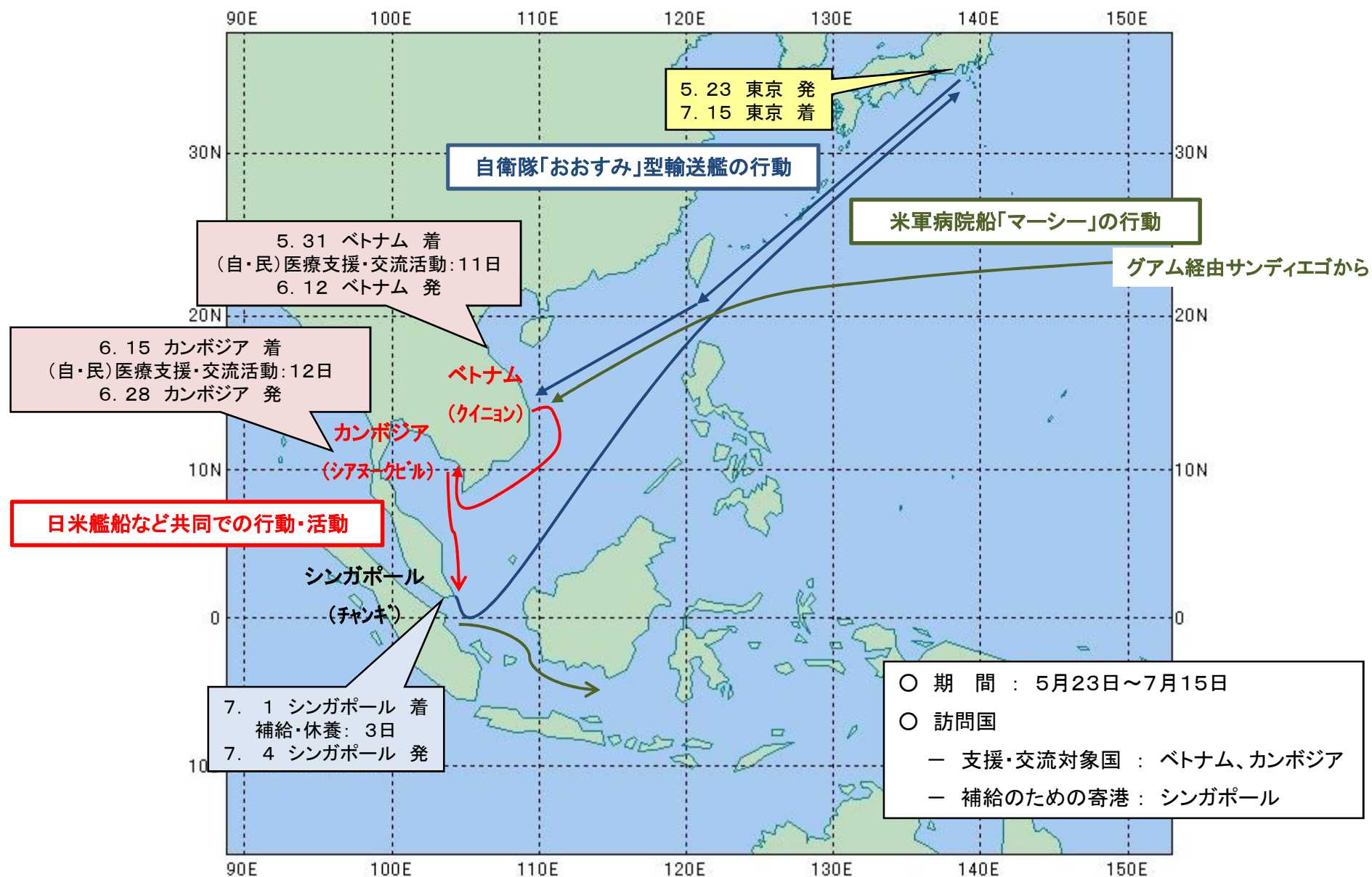
現地での活動
(昨年度までの例)



項目	防衛省・自衛隊の現時点での構想
時期等	平成22年5月23日 ～ 7月15日(約2か月)
参加艦	海上自衛隊「おおすみ」型輸送艦
訪問国	活動地: ベトナム、カンボジア、補給地: シンガポール

(注) 今後の状況に応じて変更される可能性があります。

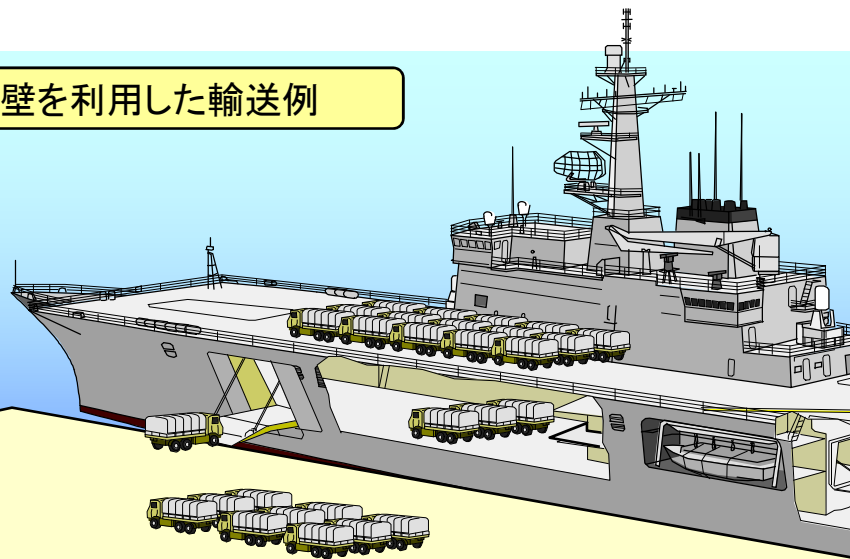
パシフィック・パートナーシップ2010への参加(行動予定)



(注) 行動日程は、今後の状況に応じて変更される可能性があります。

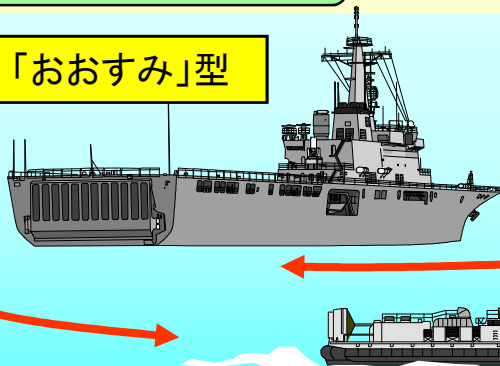
パシフィック・パートナーシップ2010への参加(活動のイメージ)

岸壁を利用した輸送例



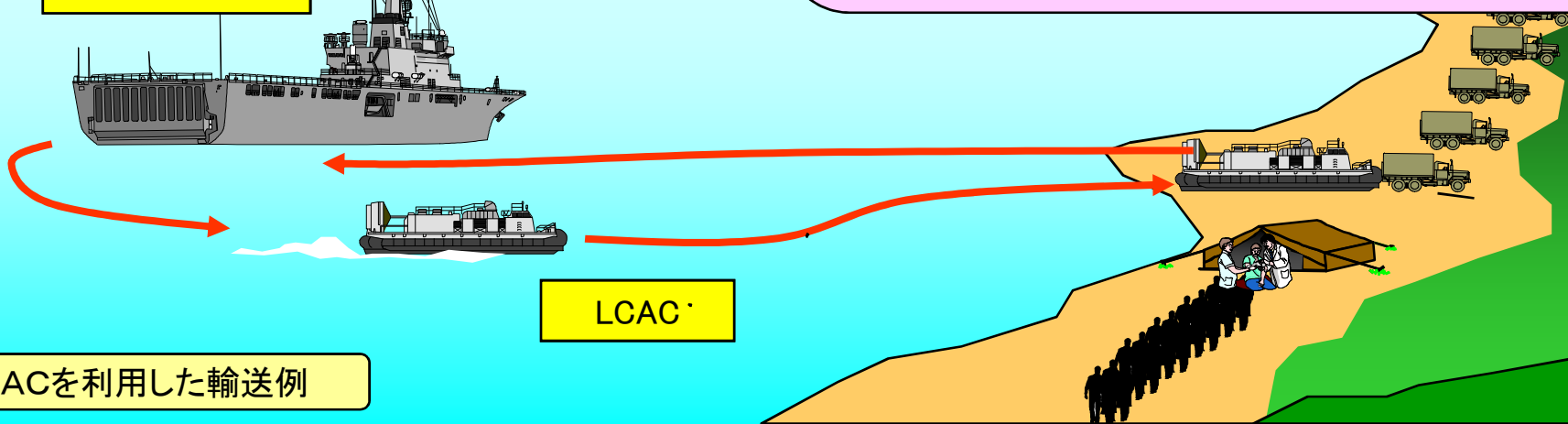
人員・物資の輸送

「おおすみ」型



LCACを利用した輸送例

LCAC



現地での活動例



医療・衛生活動



文化交流

例: 艦艇航海(信号)員によるラッパ演奏
艦艇乗員等による柔道、剣道等展示

パシフィック・パートナーシップ2010への参加(主要装備品)



【おおすみ型輸送艦】

基準排水量: 約8,900トン

長さ×幅×深さ: 約180m×約26m×約20m

最大速力: 約20kt(時速40km)

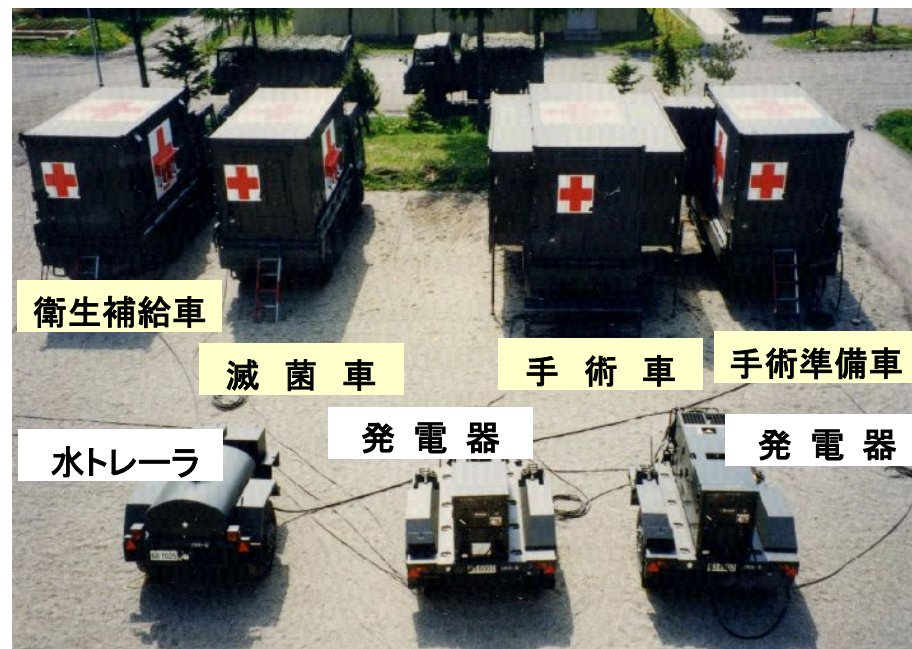
その他: エアクッション型輸送艇2隻搭載可能

【エアクッション艇】

長さ×幅: 約30m×約7m

最大速力: 約40kt(時速80km)

積載能力 戦車1両又は同等貨物(約50トン)積載可能



【野外手術システム】

普段は、後方支援連隊・衛生隊に装備されており、開胸、開腹、開頭術など救命のための初期外科手術が実施でき、1日10～15人の手術が可能なシステム。

(ただし、医療支援対象国が許可しない場合には、展開・参加しない場合があります。)